

	一般的名称	報告の概要
736	塩酸バンコマイシン	米国で7例目のバンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌が確認された。
737	ノルエチステロン・エチニルエスト ラジオール	経口避妊薬の使用歴が長い(10年以上)または最近使用している(10年以内)女性において、乳房腫瘍の発生を促進する可能性がある。
738	塩酸イリノテカン	進行性非小細胞肺癌の韓国患者81例を対象としたイリノテカン/シスプラチン併用化学療法の第Ⅱ相試験において、有機アニオン輸送ポリペプチド1B1(OATP1B1)の遺伝子多型を持つ患者で重度の好中球減少症や重度の下痢の発現率が高かった。
739	トレチノイン	肺気腫患者130例を対象とした無作為化二重盲検試験において、全trans型レチノイン酸投与により高脂血症を発現する可能性が示唆された。
740	プレドニゾロン	慢性リウマチ患者において、プレドニゾロンを経口で中用量(7.5mg以上/日)、6ヶ月以上服用した群は、非曝露群、3ヶ月未満の曝露群、低用量(7.5mg未満/日)を6ヶ月以上使用した群と比較して高血圧のリスクが高まることが示唆された。
741	イブプロフェン含有一般用医薬品	慢性心不全の既往のある患者において、イブプロフェンを含む非選択的NSAIDsの服用により、死亡率・慢性心不全や心筋梗塞による再入院率が高まることが示唆された。
742	エポエチン α (遺伝子組換え)	がん患者の貧血治療に関するPhaseⅢ試験89試験のオーバービューにおいて、がん患者に対するエリスロポエチン製剤の投与が静脈血栓塞栓症のリスクを増加させることが示唆された。
743	ダルベポエチン アルファ(遺伝子組 換え)	がん患者の貧血治療に関するPhaseⅢ試験89試験のオーバービューにおいて、がん患者に対するエリスロポエチン製剤の投与が静脈血栓塞栓症のリスクを増加させることが示唆された。
744	リツキシマブ(遺伝子組換え)	再発濾胞性リンパ腫患者17例を対象としたリツキシマブ/フルダビン/シクロホスファミド併用療法の第Ⅱ相臨床試験において、6例に重度の遷延性血小板減少症が発現し、高齢者の方が有意にリスクが高かった。
745	塩酸バンコマイシン	一医療機関においてバンコマイシン中等度耐性が2菌株報告された。
746	塩酸シナカルセト	シナカルセト投与中の患者6例を対象とした各種パラメーターの変動追跡において、シナカルセト長期投与後の中止は副甲状腺ホルモン分泌のリバウンドを起こすことが示唆された。
747	塩酸ミキサントロン	ダウン症の急性骨髄性白血病患者57例を対象としたカルテ調査において、髄膜炎菌性菌血症、ファロー四徴症の無酸素発作、RSウイルス敗血症、肺水腫、うつ血性心不全、呼吸器疾患、原因不明で8例が死亡した。
748	耐性乳酸菌配合剤(1)	重症急性膵炎患者において、プロバイオティクス投与群では、投与していない群と比較して多臓器不全、腸管虚血による死亡率が高まることが示唆された。
749	アプロチニン	オンポンプまたはオフポンプで心臓手術を受けた9106例を対象としたレトロスペクティブ研究において、トラジロールが術前にACE阻害剤を投与された患者でのオフポンプ手術後の腎機能障害リスクを増加させることが示唆された。
750	ポリコナゾール	12例の健常人を対象とした無作為化交差試験において、ポリコナゾールあるいはフルコナゾールがフェンタニルの消失時間を遅延させることが示唆された。
751	フルコナゾール	カルシニューリン阻害剤の静脈内投与を受けている同種造血細胞移植患者53例を対象としたレトロスペクティブ研究において、フルコナゾールの経口投与は静脈内投与と比較してカルシニューリン阻害剤の全平均血中濃度が上昇することが示唆された。